

キャラクター名
獅子尾 玲雄 (シシオ レオ)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン サラマンダー	ワークス	UGNエージェントA	カヴァー	オートレーサー
オプション		年齢	21	性別	男
覚醒	素体	衝動	闘争	初期侵食率	32 %
出自	貧乏	経験	汚れ仕事	邂逅	盟友

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	36
肉体	3	1	3			7	行動値	4
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	4
精神	2	0	0			2	戦闘移動	9
社会	2	0	0			2	全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	9		射撃			RC	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達	2	
運転：二輪	2		芸術：			知識：			情報：UGN	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：噂話	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
正義の拳 (0-99)	白兵	7r+9	4	16		侵蝕6 素手以外のアイテム装備・使用不可
正義の拳 (100-159)	白兵	7r+9	4	19		侵蝕6 素手以外のアイテム装備・使用不可
正義の拳 (160-)	白兵	7r+9	4	21		侵蝕6 素手以外のアイテム装備・使用不可
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
バイク	
コネ：UGN幹部	
コネ：噂好きの友人	
動物の牙	

合計装甲： 0 合計回避： 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイ	消費
奇妙な隣人	P	N		
ルート	P 信頼	N 脅威		
獅子尾 俐雄	P 憧憬	N 嫉妬		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 8 残り財産P: 1

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
オリジン：アニマル	5	3	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：	素手攻撃力+[LV*2]、素手以外のアイテム装備・使用不可							
ライトスピード	★							
効果：								
白熱	2	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：	素手変更							
コンセ：サラマンダー	3	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：	C値-[LV]							
一閃	★	2	メジャー	武器	-	-	-	
効果：	全力移動、離脱不可							
獅子奮迅	1							
効果：								
吠え猛る爪	1	2	メジャー	武器	-	対決	-	
効果：	装甲値無視、攻撃力-[5-LV]							
炎神の怒り	3	3	メジャー/リアクション	-	-	-	-	
効果：	ダイス+[LV+1]、HP-3							
空の楽器	★	-	メジャー	視界	-	自動	-	
効果：	登場シーンにBGMは必要だろ？							
炎の理	★	-	メジャー	至近	-	自動	-	
効果：	格好いい登場に爆炎は必要だろ？							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

「俺と一緒にいたら命がいくつあっても足りない？だって俺は『命知らず』だからな！！」
「ああ、そうして真つすぐ走るのが、レオのいいところだ」
「おう、相棒！」

語尾に常にビックリマークのつくような、熱血脳筋男子。
好きな四字熟語は『猪突猛進』『初志貫徹』。あと『焼肉定食』。
誰も笑って過ごせるような『日常』を守るため、仕事の無い日には自分のバイクを駆ってパトロールをしている。
ただし、割とよく職責に遣う。何故だ！！

貧乏な家に兄・俐雄と共に生まれ、二人同時に能力に覚醒したことでUGNに引き取られた。
が、真実はほぼ売られたような状況だったらしい。別に本人たちは気にしていない。
UGNのしていることが全て正しいと思って生きてきて、ヒーローのような存在だと思い狂信していた。
その中で、FHの研究施設の破壊任務を課され、沢山の一般人を殺した過去がある。
それを転機に、しばらく自分のしてきたこと・していることについて思い悩んだが、そこで見つけた協力型RB『ルート』(外見はライオン)と殴り合いの喧嘩をして、細かいことは気にしなくなった。
それ以来はUGNが仕事をしているおかげで、大多数の人の日常を守れているのだと、この仕事を誇りに思っている。

5年前、チルドレン時代の任務とある列車横転事故で覚醒した少年が不幸なことに大切な人をジャームにしてしまった時に、とあるUGNエージェントと共に仕事をしたことがある。
その少年は今ではUGNのとある支部で働いている、年齢が近いこともあり今でも連絡を取り合っている。
また、エージェントの女性がその少年に放った言葉が、今も彼の中にある。
彼女はそういう人間ではないのだが、正義の味方のように彼の目には映った。彼女のように人を救える人間でありたいのだ。